

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
1	男 50代	退形成性乏 突 起星細胞腫 [初発] (なし)	75mg/m <sup>2</sup> 38日間 150mg/m <sup>2</sup> 5日間 (3クール)	<b>間質性肺疾患</b> 飲酒(機会飲酒), 喫煙(20本/日, 39年間) アレルギー歴:なし 合併症:なし 既往歴:虫垂炎 本剤投与開始前に肺CTでの病変なし。 投与開始日 本剤の投与開始。スルファメトキサゾール・トリメプリアムの投与開始。 投与約6ヵ月目 咳嗽が発現。 花粉症と思い, ケチフェンフマル酸塩を内服するが改善なし。 投与207日目 SpO <sub>2</sub> 84%と呼吸不全があり, 精査目的で入院。血液学的検査, X線, CTにて間 (最終投与後27日 質性肺炎に特徴的な所見あり。 目) 不明 本剤投与中止を決定。 本剤投与中止のみで症状, X線所見は若干改善。気管支肺胞洗浄, 経気管支 肺生検にて非特異性間質性肺炎(NSIPパターン)と診断。 最終投与後38日目 プレドニゾロン(内服25mg/日)にて投薬治療開始。 最終投与後63日目 間質性肺炎, 咳嗽は軽快。プレドニゾロン投薬以降自覚症状は著明に改善, 陰 影も徐々に改善。

#### 臨床検査値

	最終投与後 28日目	最終投与後 42日目	最終投与後 46日目	最終投与後 52日目	最終投与後 63日目
LDH(IU/L)	236	200	211	—	167
KL-6(U/mL)	2562	—	—	3137	—
SP-A(ng/mL)	88.6	—	—	47.5	—
SP-D(ng/mL)	295.0	—	—	197.0	—
CRP(mg/dL)	2.00	1.63	0.96	—	0.09

併用薬:スルファメトキサゾール・トリメプリアム, フェニトイン, 酸化マグネシウム, 塩酸ラモセトロン